

旅館業法施行条例等の 改正内容

多摩府中保健所

生活環境安全課 環境衛生担当

条例・細則の改正目的

- ・レジオネラ症対策の強化を図るため、衛生措置及び構造設備に関する基準の一部を改正しました。

改正した条例及び細則

旅館業法施行条例

旅館業法施行細則

<https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/tamafuchu/eisei/eigyou/shinsei/ryokan.html>

改正内容の概要

- **構造設備に関する基準【令和3年10月1日施行】**
気泡発生装置等の基準を規定
- **衛生措置に関する基準【令和4年1月1日施行】**
貯湯槽の対象を拡大
モノクロラミン消毒時の濃度を規定
実施状況記録の対象を拡大

構造設備に関する基準の主な変更点

【令和3年10月1日施行】

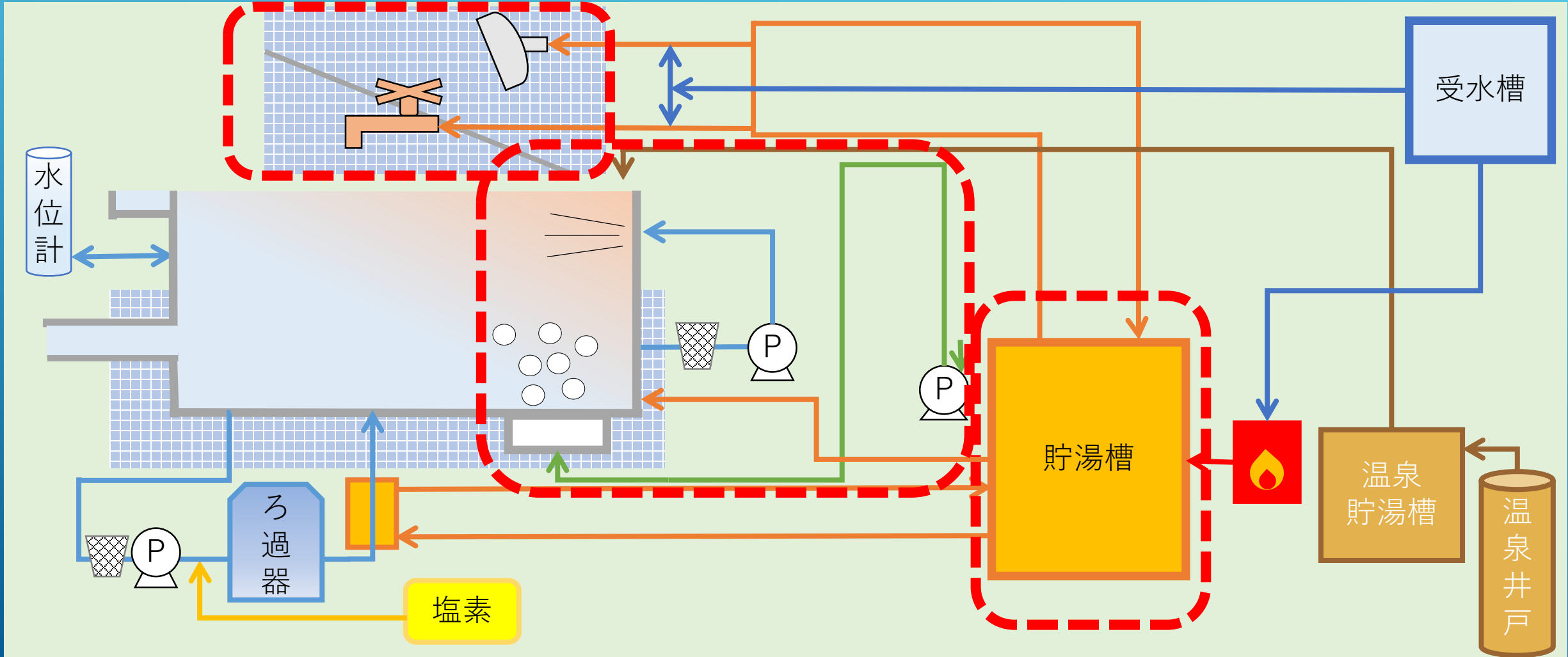
項目	変更後	変更前
気泡発生装置等の基準を規定	<u>点検・清掃・排水ができる構造</u> <u>※既存施設には、適用しない。ただし、増築、改築又は大規模修繕をする場合には、適用する。</u>	規定なし

衛生措置に関する基準の主な変更点

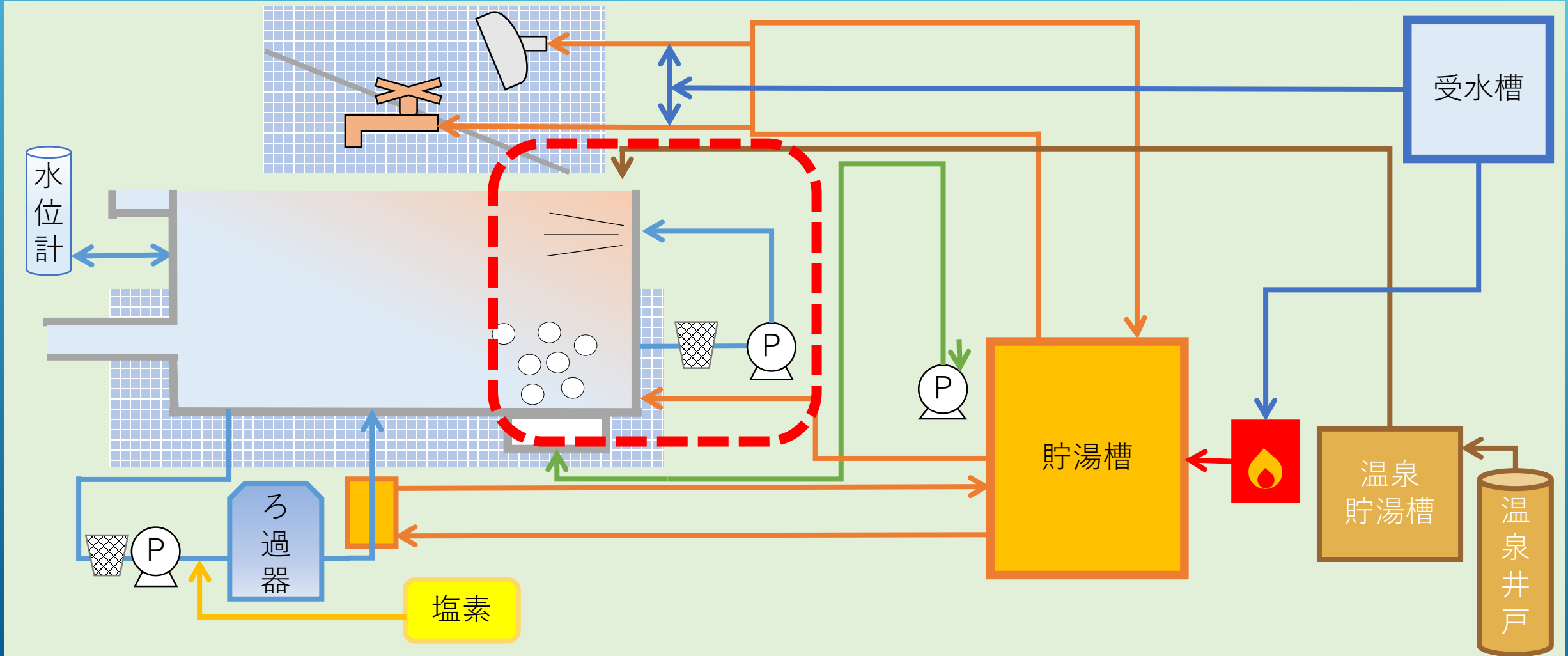
【令和4年1月1日施行】

項目	変更後	変更前
貯湯槽の対象を拡大	水道水、井戸水、温泉等 点検：随時行う 消毒：1年に1回以上行う 清掃：1年に1回以上行う	温泉法に規定する温泉 点検：随時行う 消毒：1年に1回以上行う 清掃：1年に1回以上行う
モノクロラミン消毒時の濃度を規定	3mg/L以上	規定なし
実施状況記録の対象を拡大	貯湯槽 ※の清掃、消毒等の実施状況記録 浴槽水の消毒、検査等の実施記録 (3年間保存) ※貯湯槽の対象拡大を含む	貯湯槽、浴槽水の清掃、消毒、 検査等の実施記録 (3年間保存)

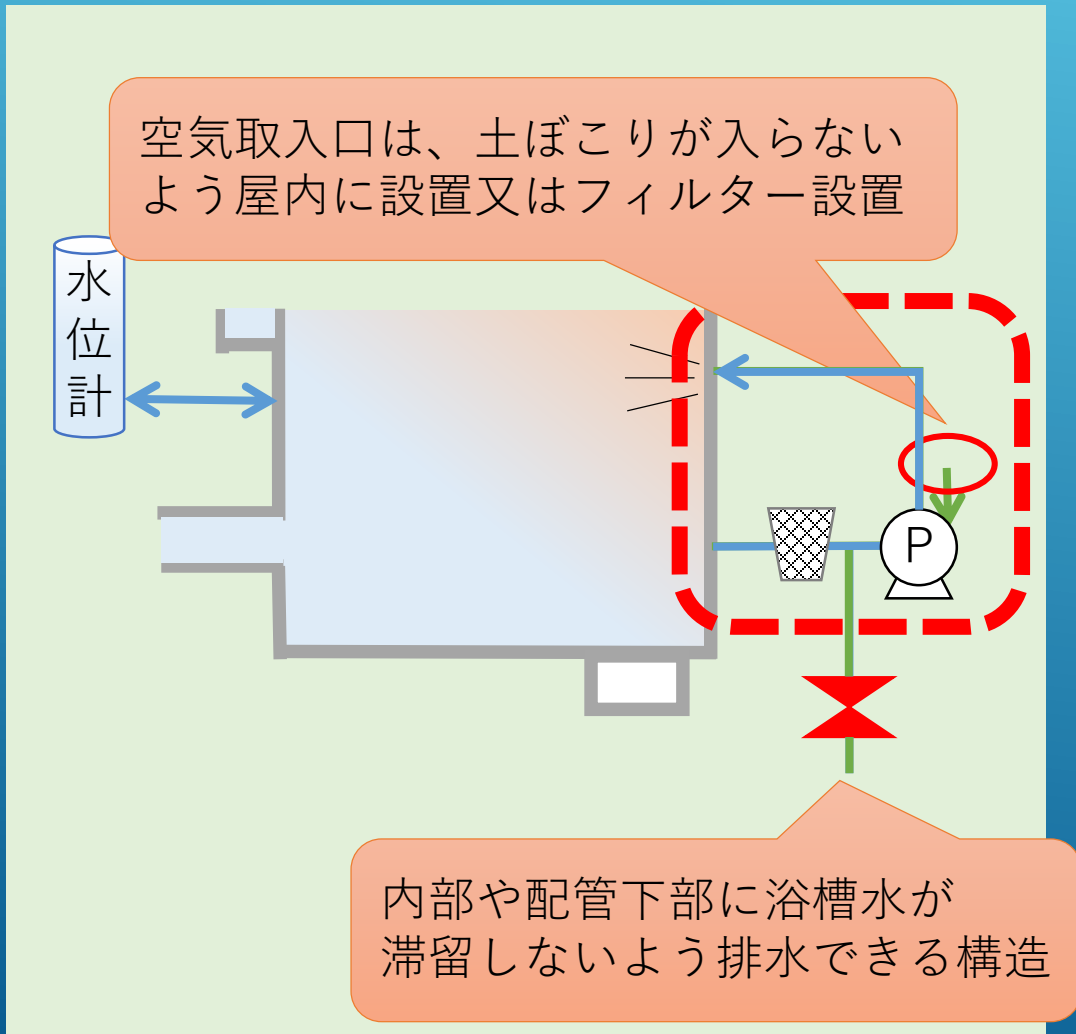
改正により 点検、清掃等が必要となる主な設備



気泡発生装置等（ジェット噴射装置）



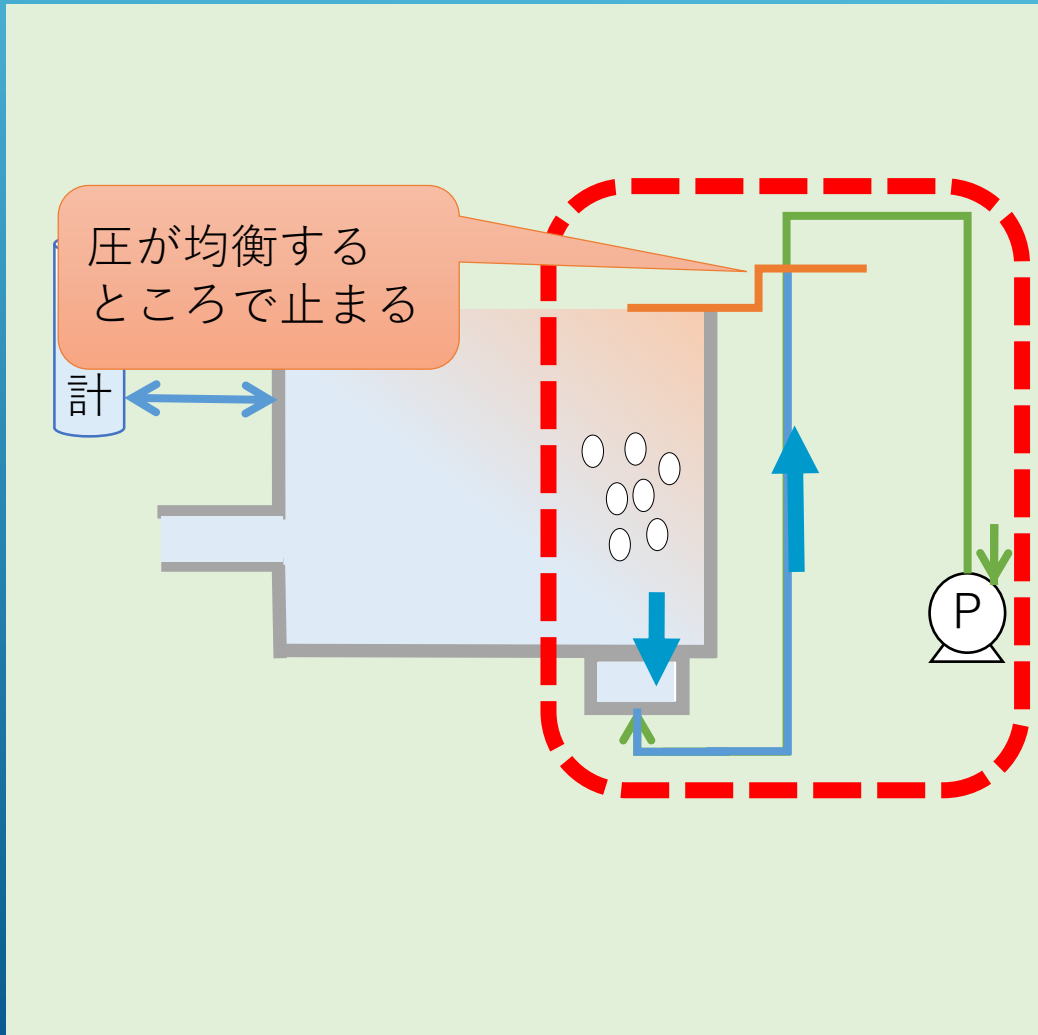
気泡発生装置等（ジェット噴射装置）



- 点検・清掃・排水ができる構造とする
（既存施設には適用しない）
集毛器は毎日清掃
集毛部や内部を消毒することが望ましい
- 1週間に1回以上の消毒を行う
遊離残留塩素5~10mg/L程度で数時間循環
60°C以上の高温水を数分~数十分循環

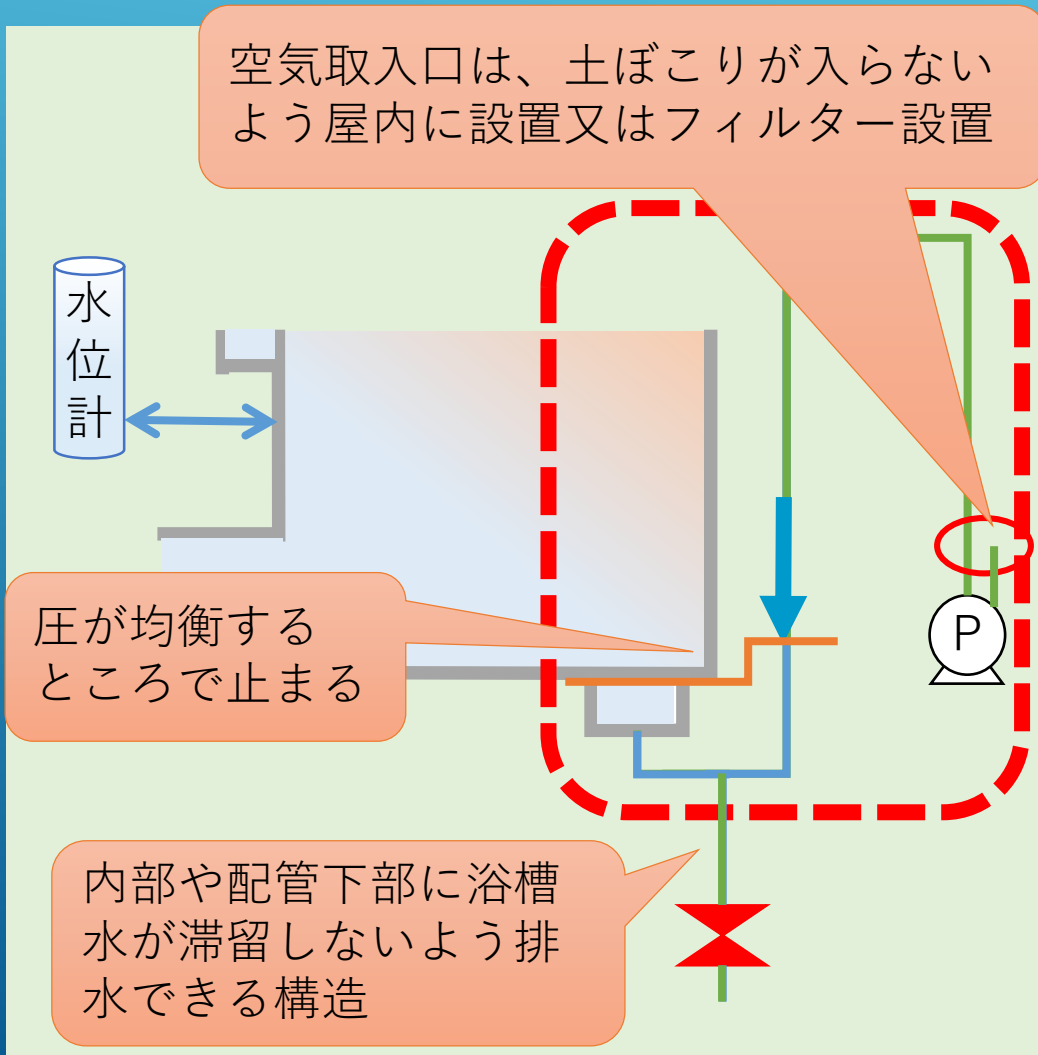
🔥 年1回程度、生物膜の除去を行うことが望ましい

気泡発生装置等（バイブラ）



- 点検・清掃・排水ができる構造とする
- 1週間に1回以上の消毒を行う

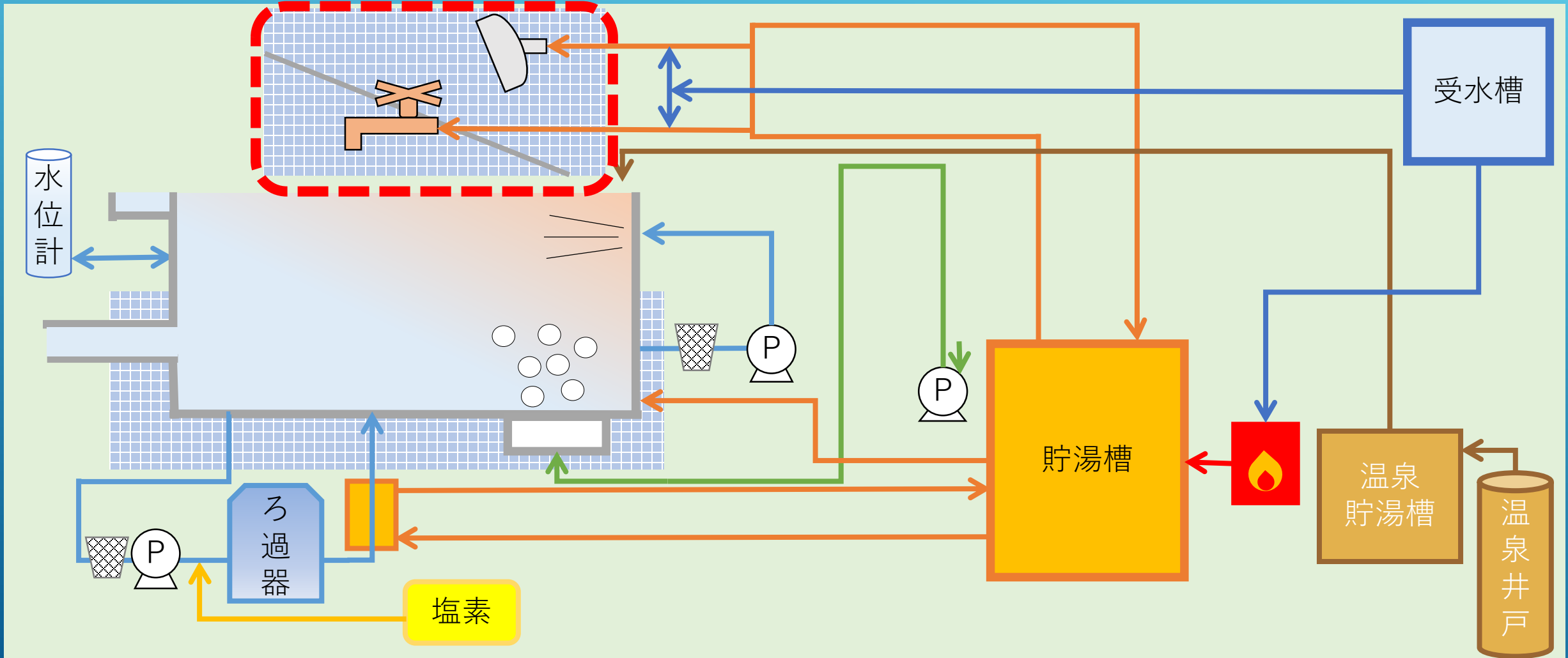
気泡発生装置等（バイブラ）



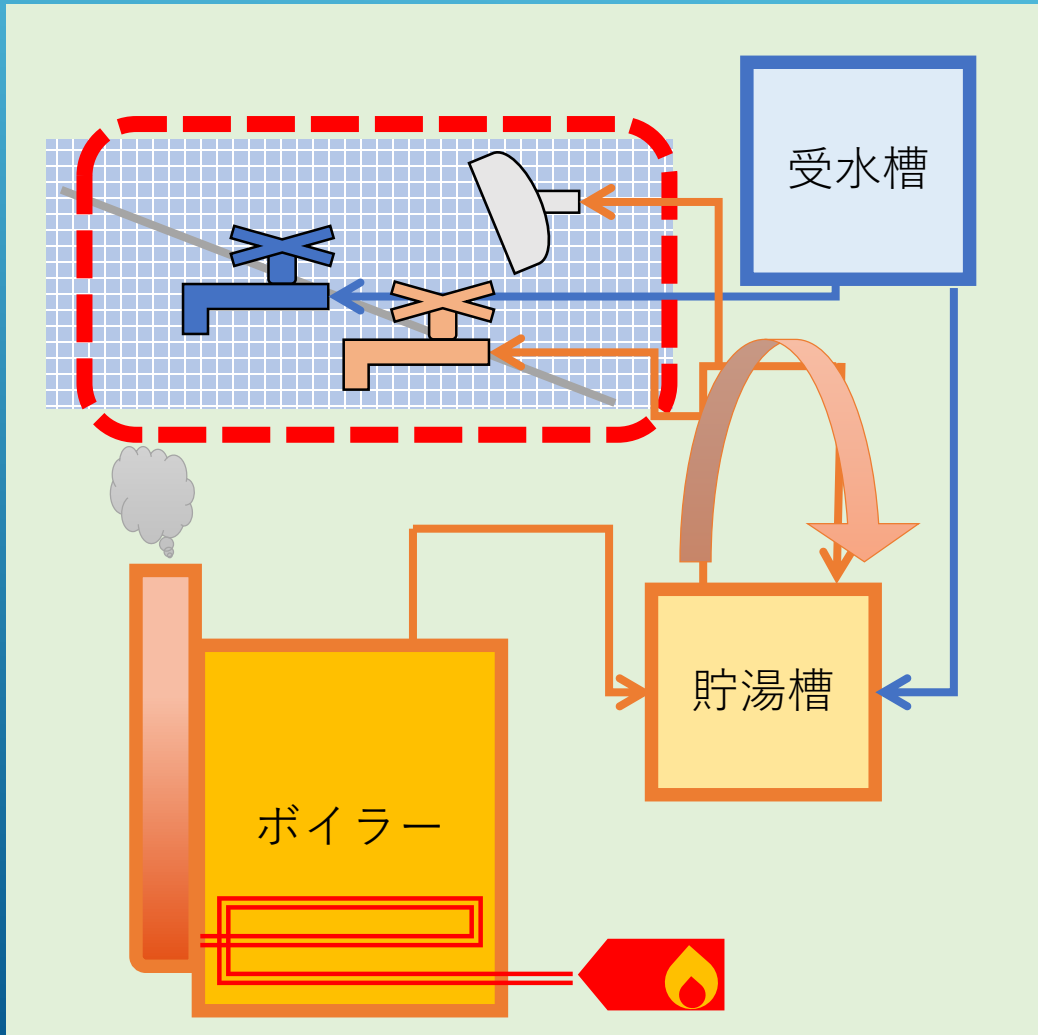
- 点検・清掃・排水ができる構造とする
- 1週間に1回以上の消毒を行う
遊離残留塩素5~10mg/L程度で間欠運転

💡年1回程度、生物膜の除去を行うことが望ましい

湯栓・シャワー

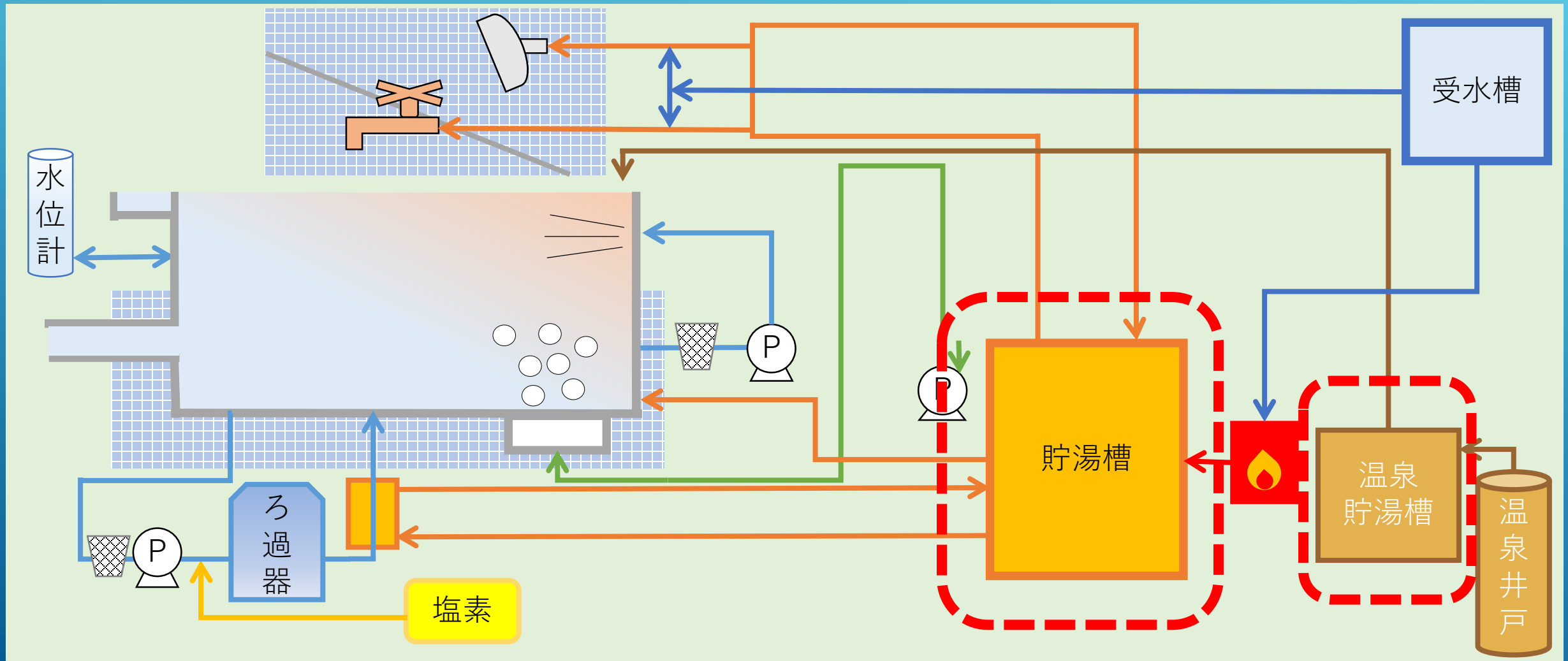


湯栓・シャワー

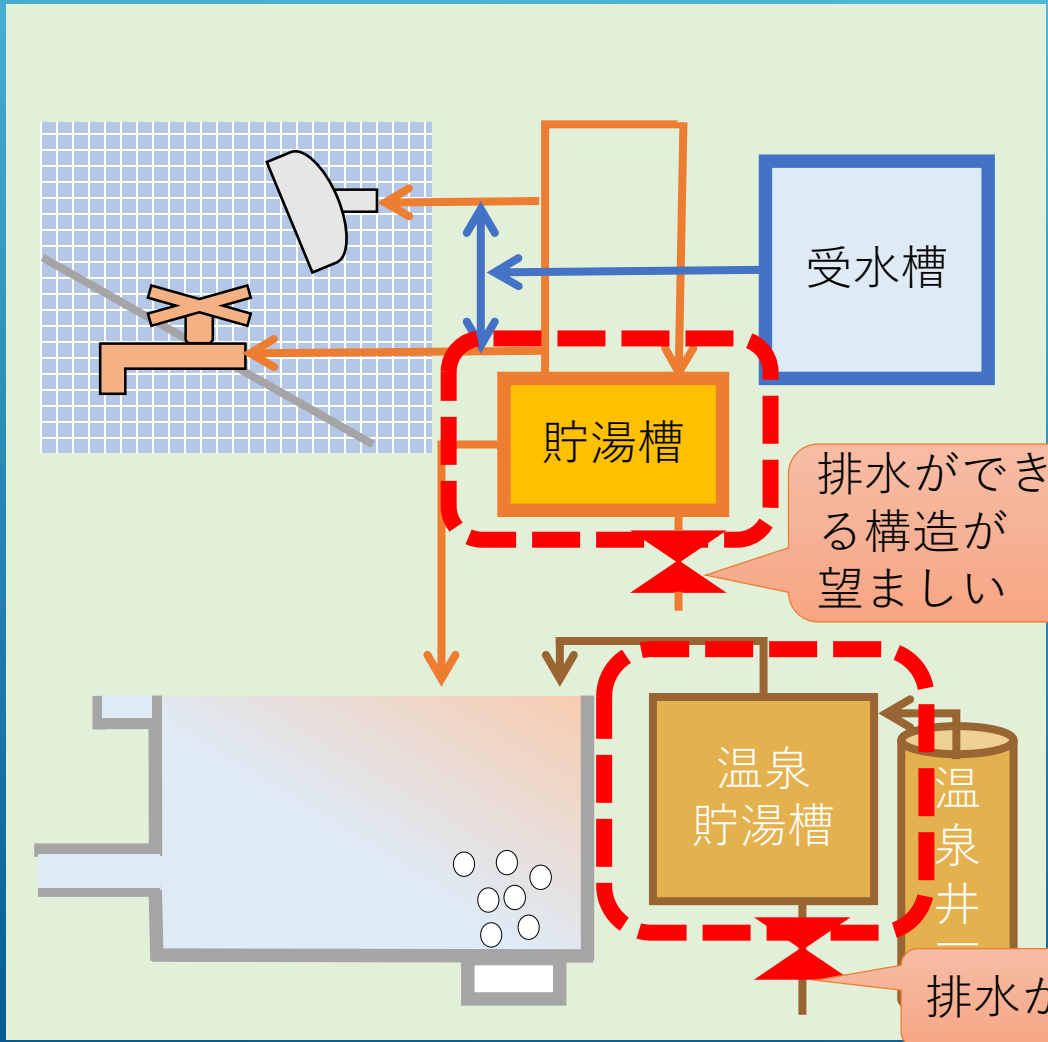


- 湯栓・シャワーヘッド
定期的に点検
 - 使用頻度に応じて、通水やシャワーヘッド等の清掃、消毒を行う
- 消毒
遊離残留塩素を高くして通水
60°C以上の高温水を通水
取り外して、消毒液に浸す

貯湯槽



貯湯槽



- 1年に1回以上の消毒・清掃をしてぬめり等の汚れを除去

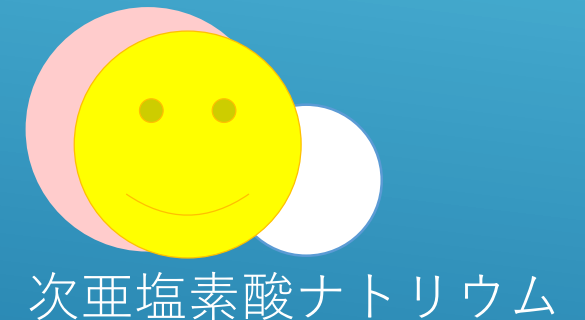
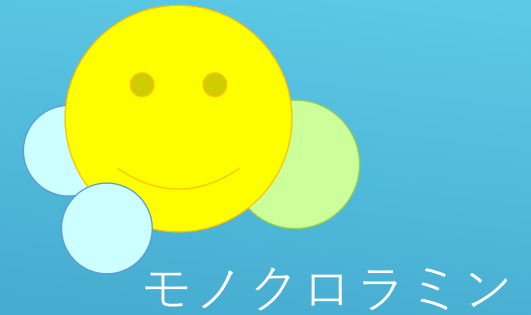
破損・生物膜の形成等を確認するため、
1月に1回以上点検をする
槽内の温度は60°C以上を保持
(残留塩素濃度を0.4mg/L以上に保つ)

排水ができる構造が望ましい

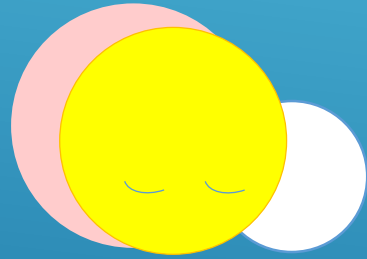
排水ができる構造が望ましい

その他

- 浴槽水のモノクロラミンによる消毒濃度
3mg/L以上
濃度が高くなりすぎないように注意すること
- 実施状況記録の対象を拡大
貯湯槽の清掃、消毒、検査等の実施状況記録
⇒3年間保存



ご清聴ありがとうございました



次亜塩素酸ナトリウム



モノクロラミン